

## 沿 革

- 平成 5年 4月 ・南小野小学校と北小野小学校の合併統合により、日田市立小野小学校として開校する
- 平成 5年 6月 ・プール新設
- 平成 8年 1月 ・へき地校基準見直しにより、1級へき地校から準へき地校になる
- 平成 8年 4月 ・学級園を新設、コンピューター1台設置
- 平成 8年 4月 ・文部省指定「へき地教育研究校」1年次を受ける
- 平成 8年11月 ・コンピューター9台設置
- 平成 9年 3月 ・校歌開き 作詞：筑紫哲也氏、作曲：野田高巳氏
- 平成 9年10月 ・文部省指定「へき地教育研究発表会」開催
- 平成10年 9月 ・地区体協との合同による「第1回小野秋季大運動会」開催
- 平成10年11月 ・青少年健全育成発表会開催
- 平成11年 4月 ・県P連指定「地域教育力向上支援事業」を受け研究部発表
- 平成12年 4月 ・三校連携（伏木・花月・小野）交流会（～平成14年度）
- 平成12年11月 ・2000年記念事業として、しだれ桜を植樹
- 平成13年 4月 ・新財務会計システム始動
- 平成13年 5月 ・大分県愛鳥モデル校の指定を受ける（～平成17年度）
- 平成14年 4月 ・大分県ボランティア協力校の指定を受ける（～平成16年度）
- 平成14年11月 ・開校10周年記念式典を行う
- 平成15年 3月 ・本物の舞台芸術体験事業として「走れメロス」演劇公演
- 平成15年 3月 ・日田市学校版IOS認定校になる
- 平成15年 7月 ・地球ハーモニーコンサート開催（郵便局、公民館共催）
- 平成16年 3月 ・体育館緞帳設置
- 平成16年 8月 ・校舎外壁塗装工事・体育館バトン設置
- 平成17年11月 ・第7回ふれあいデー・大分ウインドアンサンブル荷揚演奏会
- 平成18年 3月 ・大縄跳び記録挑戦（NHK・TV撮影放映）
- 平成18年 4月 ・小中高連携の環境教育エコスクール推進事業（県指定）を受ける
- 平成20年 1月 ・小中高連携の環境教育エコスクール推進事業（県指定）研究発表会
- 平成20年11月 ・校歌作詞者である故筑紫哲也氏を偲ぶ会に参加する
- 平成21年 9月 ・NHKより日田下駄づくり応援のため、下駄タップダンスに出場依頼を受け、練習・録画・放送
- 平成22年 3月 ・図書館を使った調べ学習コンクールで学校賞・個人賞 受賞
- 平成23年 2月 ・小鹿田焼き焼き物教室実施、講師3名 テレビ放映・新聞記載
- 平成23年 4月 ・日田市人権教育研究指定校を受ける
- 平成24年 4月 ・日田市人権教育研究指定校（2年次公開発表）
- 平成24年 4月 ・大分県平成24年度体験的参加型人権学習指定研究を受ける
- 平成24年 4月 ・日田市へき地小規模校教育研究指定を受ける
- 平成24年 7月 ・大雨・水害のため通学路寸断・臨時休校
- 平成24年 9月 ・普通教室エアコン設置
- 平成25年11月 ・小野小校内公開研究会（奈良女子大特任教授 梶田萬理子先生招聘）

## 校区の概要

○本校は、明治11年開校の小野小学校（のち北小野小学校）と明治20年2月小野小学校より分離開校した南小野小学校が100年以上にわたる南北両小学校の独自の歩みの後、平成5年（1993年）4月、合併統合して日田市立小野小学校として開校。

平成14年11月地域をあげて開校10周年を祝う。

校区は四町内（源栄町、殿町、鈴連町、三河町）にまたがり、20の集落からなっている。校区の全戸数は274戸、就学家庭は25戸、児童数40名である。

○本校は、日田市の北西部に位置し、市の中心部から約10kmの地点にある。

校区全体は、日田杉の美林とホタルの生息する谷川に沿って僅かに耕地が開けている山村地である。昔は、山林業・農業などで生計を営んでいたが、現在は夫婦共働きのかたわら農業に従事する兼業農家がほとんどである。また、梨の栽培も盛んで「小野なし」と呼ばれ有名である。小鹿田・皿山は、陶芸の里として全国的に有名で観光客も多い。

○通学距離は、最長で6kmもあり、校区北部の源栄町（6名）と南部三河町（13名）の児童は、路線バスを利用して通学している。なかでも北部は、冬季になると降雪のため通学が困難になることもある。